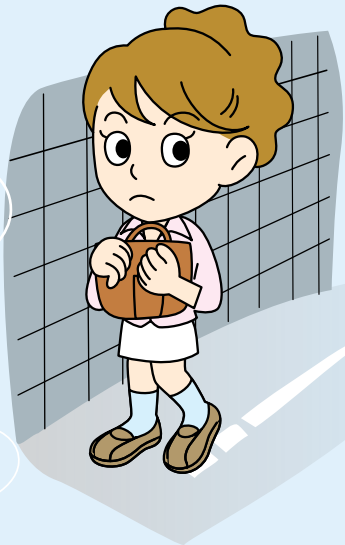


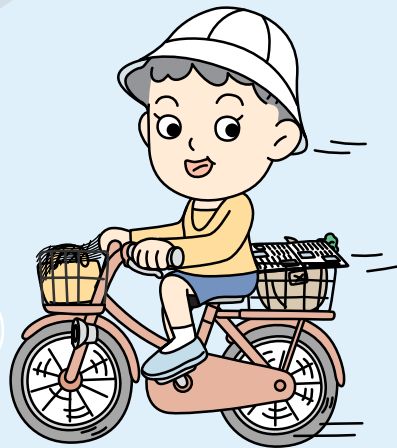
ひったくり被害にあわないために ひったくり防犯対策

- ハンドバック等の所持品は建物側に持つ、胸にしっかり抱えるなど、持ち方に気をつけましょう。
- 後方からのオートバイの音に注意しましょう。



- 人通りの少ない道路を歩く時は、誰か自分の後をつけていないかなど、周囲にも注意しましょう。

- 自転車のカゴには、ひったくり防止用ネットを使いましょう。
※バック等の上に雑誌や新聞紙を置くだけでも効果はあります。



被害に遭ったときは大声で周囲の人に知らせたり、すぐに110番通報をしましょう。

※犯人の特徴をできる限り詳しく教えてください。



110番通報時のポイント

- バイクの色は？
- ヘルメットの色は？
- 犯人の人数は？
- 服の色は？
- どの方向へ逃走したか？

子どもを守ろう

保護者のみなさんへ



- 子どもの行動は、日ごろから把握しておく。
- 何かに夢中になりすぎて子どものことを忘れない。
- 学校や行事などの帰りは友達など集団で帰らせる。
- 不自然な子ども連れには、ひと声かける。110番通報する。
- 子どもの帰りが遅いときは、行き先の確認をする。
- よその子どもは、明るいうちに家に送っていくか、迎えに来てもらう。

みんなのやくそく

- 1 ひとりであそばない。
- 2 しらないひとには、ついていかない。
- 3 しらないひとのくるまには、のらない。
- 4 つれていかれそうになったら、おおごえで、たすけをもとめる。
- 5 あそびにいくときは、いきさきとかわるじかんを、いえのひとにいつてからでかける。
- 6 ともだちがつれていかれそうになったら、ちかくのおとなや、おまわりさんにしらせる。



こども110番の家

- 子どもたちが危ない目にあった時、気軽に駆け込んだり、声をかけたりできる場所の目印です。
- 子どもたちの行動範囲にある「子ども110番の家」を親子で確認して、安全マップなどに印をつける。

